

事前配布

# 第 36 回全国建築板金競技大会

## 実施要綱

平成 26 年 2 月 8 日（土）・9 日（日）

静岡県富士宮市  
富士教育訓練センター

一般社団法人日本建築板金協会

# 全国建築板金競技大会

## 実施要綱

### 1. 目的

我が国の伝統ある建築板金の技能を後世に残し、将来の建築板金を担う若手の後継者の発掘と育成を図るため、その技能を発表する機会を設け、その技術力を競技・研鑽させる。それにより国民生活に欠かすことのできない「住」に係わる優秀な建築板金の人材育成を行い、我が国の住環境の品質の向上・安心・安全に資するものとする。

#### □ 技能競技の部

技能者が新しい時代の要請に応えていくためには、技能の基本に立脚し、創意・工夫を重ねていかねばならない。具体的には建築板金業における「ものづくり」の基礎を成す<技能>の継承及び国民生活向上に重要な役割を担う建築板金業の基本能力である<技能>の振興に対する決意と取り組みを内外に表明する。

#### □ 建築技術の部

建築板金業における良質工事の確保に必要な施工管理技術の向上に資することと共に、建築の様式や工夫の変化に対応した施工技術の向上と有能な技術者を建築板金業界に確保し、国民の住生活の向上と、重要な役割を担う建築板金業の施工管理能力<責任施工能力>の向上に対する決意と取り組みを内外に表明する。

### 2. 実行機関

- 主催 一般社団法人日本建築板金協会
- 後援（予定）厚生労働省・国土交通省・静岡県・富士宮市  
職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会
- 設営 一般社団法人日本建築板金協会青年部
- 協力 各板金工業組合協議会青年部  
(北海道・東北・関東甲信越・中部・西部・四国・九州（順不同）)

### 3. 選手の参加資格

建築板金に興味がある者であれば誰でも参加できる。（職業訓練生・学生も可）

ただし、過去の大会における部門第1位入賞者でないこと。

技能競技の部については、参加申し込みが会場スペースを上回った場合は、先着順とする。

#### 4. 開催期日

平成26年2月8日（土）・9日（日）

#### 5. 開催場所（宿泊場所）

〒418-0101

静岡県富士宮市根原492-8 「富士教育訓練センター」

TEL：0544-52-0968 FAX：0544-52-1336

<http://www.fuji-kkc.ac.jp/>

#### 6. 参加申し込み 等

(1) 所定の参加申込み用紙で、日板協事務局へお申込みください（FAX可）。

FAX：03-3456-2781

(2) 参加申込並びに参加費振込期限 …………… 平成26年1月10日（金）17時

- ・ 期限以降の参加取消しの場合、参加費用は返金しかねますので予めご了承ください。
- ・ 上記期限までに参加申込および参加費の振込が確認できない場合、参加を受理できませんので十分にご注意ください。

(3) 参加費

- ① 選手：一人15,000円（支給材料費、宿泊代、2日間の傷害保険料等を含む）
  - ② 参観者：一人15,000円（宿泊代、2日間の傷害保険料等を含む）
- ※ 選手、参観ともに一泊三食（夕・朝・昼）。

(4) 参加費の振込先

りそな銀行 麻布支店（普通）1715495「一般社団法人日本建築板金協会」

（振込手数料はご負担ください）

#### 7. 競技課題及び持参道具

技能競技の部

- 1) 銅板による『飾枱六角落』の製作（展開図の作成を含む）とし、その詳細は別添の課題（水色の冊子）によります。
- 2) 課題に記載された「技能競技指定工具一覧」以外の工具類の使用はできません。

※不明な点は必ず事前に確認してください。

建築技術の部

- 1) 「屋根工事」に関する施工図2枚を作成することとし、その詳細は別添の課題（桃色の冊子）によります。
- 2) 道具類は課題に記載された「選手が持参するもの」等をご確認ください。

## 8. 審査基準及び方法

大会の円滑なる運営を図り厳正公平な審査を期するため本部委員会、実行委員会、審査委員会を設置し別途定めるものによる。

### 1) 本部委員会の構成

本部委員会の構成は、一般社団法人日本建築板金協会会長、一般社団法人日本建築板金協会副会長（青年部担当）、一般社団法人日本建築板金協会青年部長より委任された者をもって構成する。

### 2) 実行委員会の構成

一般社団法人日本建築板金協会青年部員がこれにあたる。

### 3) 審査委員会の構成

外部審査員

技能競技の部 職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会会長指名者

建築技術の部 職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会会長指名者

内部審査委員

一般社団法人日本建築板金協会会長、一般社団法人日本建築板金協会副会長（青年部担当）、一般社団法人日本建築板金協会青年部役員

### 4) 審査結果の発表

時期：平成26年3月上旬（予定）

## 5) 表彰

上位入賞者は次のとおり表彰する。

### ① 内部表彰

両部門第1位から第10位までを入賞とする。

第1位から第5位までを日板協会長名による賞状と記念品を、第6位から第10位までを日板協会長名による賞状を授与する。

### ② 外部表彰（予定）

#### □ 技能競技の部

第1位 厚生労働大臣賞

第2位 厚生労働省 職業能力開発局長賞

第3位 静岡県知事賞

第4位 富士宮市長賞

第5位 職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会会長賞

#### □ 建築技術の部

第1位 国土交通大臣賞

第2位 国土交通省 土地・建設産業局長賞

第3位 静岡県知事賞

第4位 富士宮市長賞

第5位 職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会会長賞

### ③ 表彰式（予定）

両部門第1位～第5位の上位入賞者に対して下記の通り表彰を行う。

外部表彰：全国大会時（第1位は登壇）

内部表彰：日板協青年部通常総会時

## 6) スケジュール（予定）

二日間のスケジュールは下記の通りです。

	時刻	行事・行動	備考
第 一 日	12:30	集合	JR 新富士駅北口ロータリー
	12:40 ~	バスで移動	
	13:30 ~ 14:10	受付	富士教育訓練センター
	14:20 ~ 15:00	開会式	
	15:10 ~ 15:30	記念撮影（屋外）	（荒天時は体育館で撮影）
	15:50 ~	競技上の説明 ・持参道具点検 等	選手 : 各部門会場 参観者 : 当日ご案内
	17:30 ~ 19:00 17:00 ~ 21:30 23:00	夕食 入浴 消灯（自室へ）	
第 二 日	6:45 ~ 7:45	朝食	富士教育訓練センター
	7:50	選手集合	
	8:00 ~ 12:00	競技	
	12:00 ~ 12:50	昼食	
	13:00 ~ 13:30	閉会式	
日	14:00 15:00頃	<参加者> バスで移動 解散	JR 新富士駅北口ロータリー
	13:00 ~	<役員・スタッフ> 審査・撤収作業 等	富士教育訓練センター

※スケジュールは変更になることもありますので、あらかじめご了承ください。

7) 参考資料：過去5年間の上位入賞者（敬称略）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第35回	第1位	唐島盛一（富山県）	元木敏仁（東京都）
	第2位	森永龍一（長崎県）	諸田伸輔（群馬県）
	第3位	熊谷栄太（岩手県）	足立 徹（大阪府）
	第4位	加藤和宏（秋田県）	石戸谷妙一（青森県）
	第5位	富士トーマスリー（徳島県）	中込公一（東京都）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第34回	第1位	橋谷冬紀（香川県）	武井 士（山梨県）
	第2位	桶本真弘（京都府）	諸田伸輔（群馬県）
	第3位	島津隆行（奈良県）	田中義一郎（新潟県）
	第4位	菅野雅道（福島県）	足立 徹（大阪府）
	第5位	藤原 譲（秋田県）	山田 満（島根県）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第33回	第1位	岩本成人（福井県）	羽賀 満（新潟県）
	第2位	森永龍一（長崎県）	武井 士（山梨県）
	第3位	福井 剛（京都府）	諸田伸輔（群馬県）
	第4位	唐島盛一（富山県）	澤野永昌（愛知県）
	第5位	石井邦彦（北海道）	小刀根雅紀（北海道）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第32回	第1位	一ノ関晃多（秋田県）	北村英明（埼玉県）
	第2位	森永龍一（長崎県）	羽賀 満（新潟県）
	第3位	遠藤孝之（福島県）	諸田伸輔（群馬県）
	第4位	高橋信一（宮城県）	森川享英（大阪府）
	第5位	浦谷晃次（京都府）	勝部信生（島根県）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第31回	第1位	佐々木剛（愛媛県）	熊谷義秀（北海道）
	第2位	浜田 翼（大分県）	諸田伸輔（群馬県）
	第3位	一ノ関晃多（秋田県）	森川享英（大阪府）
	第4位	岡本竜司（高知県）	西 一次（大阪府）
	第5位	吉松裕二（熊本県）	藤井隆志（徳島県）

## 8) 参加者の心得

### 全国建築板金競技大会 出場選手および参観者の心得

一般社団法人日本建築板金協会

全国建築板金競技大会に参加する選手並びに付添者の基本的な心得を次の通りと定める。

大会期間中、競技会場内・宿泊施設およびこれらに付随する諸施設内にあっては社会人としての秩序や友愛をモットーとし、互いに協力し合い、大会にふさわしい環境をつくるように心がけること。

また、大会の風紀を乱し、選手の本分に反しないように服装、言葉遣いなどについては十分留意し、かつ、品位を保ち、自覚ある行動をとるように心がけること。

#### 【注意する事項】

1. 集合や競技における時間についてはもちろんのこと、食事や入浴、消灯時間等の施設における規則についても厳守すること。
2. 大会および宿泊施設の備品類やその他の公共物の破損、紛失等は絶対に避けること。万が一破損・紛失をした場合は、速やかに大会実行委員まで申し出ること。
3. 競技会場には集合時間前や終了後または休憩時間中に立ち入らないこと。
4. 宿泊室および競技会場をはじめとする施設内は禁煙となっているので、タバコは決められた場所で喫煙し、火災の防止に努めること。
5. 期間中は他の研修生、センター職員には必ず声を出して挨拶をすること。
6. 期間中はできるだけセンターからの外出を避けること。
7. 部屋の鍵については各部屋のロッカーに挿してあるので入室後の管理は各自で行うこと。  
大会終了後は元の場所（ロッカーに挿す）に戻し、絶対に持ち帰らないこと。  
期間中は、貴重品以外の荷物は部屋に置いたまま必ず施錠すること。
8. 浴室（大浴場／中浴場）の使用時間は午後5時から午後9時30分までと決められているので厳守すること（時間外の入浴はできない）。
9. 食堂の利用時間についても厳守すること。
10. 消灯時間（午後11時）後は速やかに自室に戻ることに。
11. 大会期間中は大会実行委員の指示に従うこと。不明な点は大会実行委員に申し出ること。

以上